

赤塚伊三武： ヒジキの学名の正しい綴り Isamu AKATSUKA: Correct spelling of scientific name for "Hiziki" or "Hijiki"

ヒジキの学名は、岡村によって立てられた直後から現在まで、誤って綴られる場合が多くみられ、安定していない状況にある。誤りの例としてはまず、属名を *Hijikia* または *Higikia* と綴るものが挙げられる。これは訓令式と英語国民の発音流のローマ字化法の勝手な取り違えに帰因するようだ。岡村 (1956) の日本海藻誌訂正版でもなお誤りが索引に残っている状態では、混乱も当然かもしれない。第二の誤綴の例は、種小名を *H. fusiforme* とする場合である。岡村によって 1932 年に記載された後で出版された、同著者の日本海藻誌 (1936 および 1956) においてさえも本文個所で *H. fusiforme* (HARV.) OKAM. との語尾変化のまま出版されていることが混乱の一因であろう。

具体的な誤りの例として、教科書および図鑑から抜き出せば次のようである。

広瀬 (1965, p. 410, *Hizikia fusiforme*; 索引の p. 36, *Hijikia fusiforme*), 岡田 (1934, p. 68, *Higikia fusiformis*), 岡村 (1936, p. 314, *Hijikia*; 314-315, *Hijikia fusiforme*; 945, *Hijikia*; 1956, p. 314-315, *Hizikia fusiforme*; 943, *fusiformis*, *Hijikia*), 殖田・岩本・三浦 (1963, p. 92, *Hijikia*; 286, 495, *H. fusiforme*)。

藻類研究者以外の者はこれら図鑑あるいは教科書類から学名を知ると考えられるので、注意をする必要があろう。また外国文献に誤綴が孫引きされた例も多くみられる。

岡村の原著では次のとおりで、このように綴るのが正しい:

Hizikia, Gen. nov., Icon. Jap. Algae 6: 95 (Japanese), 99-100.

H. fusiformis (HARVEY) OKAMURA, Icon. Japan. Algae 6: 95 (Japanese), 100. 1932.

ヒジキは普通種であると共に産業種であるため、生物系ばかりでなく化学系の研究材料にも用いられるので問題が大きい。

東京学芸大学の小林弘教授にはラテン語の語尾変化について御教示を受けたことを感謝します。(191 日野市日野 6498 の 4-103)

引用文献

- 広瀬弘幸 1965. 藻類学総説, 増補版. 内田老鶴圃新社, 東京.
岡田喜一 1934. 原色海藻図譜, 三省堂, 東京.
岡村金太郎 1952. 日本藻類図譜, 第 6 卷. 風間書房, 東京 (初刷: 1932).
——— 1936. 日本海藻誌, 初版. 内田老鶴圃, 東京.
——— 1956. 日本海藻誌, 訂正第二版. 内田老鶴圃, 東京.
殖田三郎・岩本康三・三浦昭雄 1963. 水産植物学. 恒星社厚生閣, 東京.